（様式１－１）

学校番号	中学8	学校名	茨城県立下館第一高等学校附属中学校

令和8年度道徳教育全体計画

諸法規

・教育基本法
・学校教育法
・学習指導要領
・茨城県教育委員会の教育目標

校訓

なし

学校の教育目標

・自主自立の精神を有し、地域のリーダーや国際社会で活躍する人財を目指し、生徒と教師がともに学び合う学校を想像する。
・様々な変化に積極的に向き合い、多様な人々と協働して課題を解決する力や、新たな価値を創造する力を持つリーダーを育成する。

生徒の実態

・1学年40名で3年間の生活であるため、学級内の級友に対する理解は深まるものの、多様性について学ぶ機会はやや少なく、視野を広げる必要がある。
・読解力やコミュニケーション能力が高い生徒が多く、答えが一つでない道徳的な課題について、多様な意見が出る傾向にある。
・スマホ、SNSの普及によりネット依存にある生徒が一定数いる。

保護者の願い

・自他を大切にし、仲間とともに助け合いながら成長してほしい。
・一日一日を大切しながら、様々な経験を積んでほしい。

道徳教育重点目標

・正しく判断し、思いやりのある生徒を育成する。
・人としての在り方や生き方の基盤となる考え方や心情を養う。
・規範意識を高め、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。
・自文化を大切に、多様な文化を認め、貢献しようとする意欲を養う。

地域の実態

・グローバルおよびグローカルの両視点をもった人材の育成を目指し、地元関連企業との連携・協力体制を築いている。

各教科・科目

国語	・言語活動を通じて、読解力や表現力を伸ばし、他者の考え方や心情を適切に理解しようとする態度を養う。
社会	・グローバル化する国際社会を多角的・多面的に考察し、課題を主体的に解決しようとする態度を養う。
数学	・数学的活動の楽しさや良さを実感し、生活や学習に生かそうとする態度を養う。
理科	・自然現象に関する問題を想起し、科学的な判断力・表現力を育み、自ら進んで探究しようとする態度を養う。
音楽	・音楽活動の体験を通して、音楽文化と豊かに関わろうとする心情や感性を育む。
美術	・美術の創作活動や表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術文化と豊かに関わろうとする心情や感性を育む。
保健体育	・現代社会の中で、生涯を通じた心身共に健康に生きようとする態度を養う。
技術家庭	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
外国語	・英語でのスモールトークなどを通して、自己表現の機会を設定し、主体的にコミュニケーションをとろうとする態度を養う。

各学年ごとの指導の重点

1年
・望ましい生活習慣を身につけ、安全で調和のある生活をすること
・礼儀の大切さを理解し、時と場に応じて適切に行動すること
・集団の意義についての理解を深め、協力し合って集団生活の向上に務めること
・規範意識を高め、学級活動や学校行事、生徒会活動に積極的に参加する意欲を高めること
・かけがえのない自他の生命を尊重し、多様な文化を認めようとすること

2年
・主体的に考え、判断し、自己の行いに責任をもつこと
・温かい人間関係を築き、他の人々に対し思いやりの心をもつこと
・郷土の伝統と文化を尊重し、積極的に地域に関わろうとすること
・勤労の尊さを重んじ、奉仕の精神を進んで実践しようとすること
・規範意識を高め、学級活動や学校行事、生徒会活動に積極的に参加する意欲を高めること
・かけがえのない自他の生命を尊重し、多様な文化を認めようとすること

3年
・高い目標を目指し、ねばり強く最後までやり抜く強い意志をもつこと。
・それぞれの個性や立場を尊重し、広い心をもつこと
・正義を重んじ、誰に対しても分け隔てなく接し、差別や偏見を許さないこと
・規範意識を高め、学級活動や学校行事、生徒会活動に積極的に参加する意欲を高めること
・かけがえのない自他の生命を尊重し、多様な文化を認めようとすること

特別活動

・生徒会組織体制を整備することで生徒会活動の活性化を図る。
・学級における話合い活動の充実を図る。
・近隣中学校や小学校と連携した取組を計画、実践することを通して、一人一人の自己肯定感や自己有用感を高める。
・キャリアパスポートを積極的に活用し、振り返りを充実させる。

総合的な学習の時間

探究的な見方・考え方を働かせ、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する。
・実社会や実生活の中から問いを見いだし、主体的に課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
・探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

道徳の時間の指導方針

生徒一人一人が、道徳的な課題について多面的・多角的に考え、自己や他者との対話的な学びを通して、人としてよりよい生き方についての自覚を深めようとする授業を目指す。
・年間指導計画に基づき、生徒の心身の発達や個に応じた適切な指導の工夫
・現実社会での生活と学校の教育活動全体に関連付け、題材を通して、道徳的心情を育む指導の工夫
・問題解決的な学習や体験的な活動など指導方法の工夫
・他の教師との協力的な指導や研修の活用
・一人一人の成長を促すための指導と評価の工夫

生徒指導

・「成長を促す指導」等の「積極的な生徒指導」を充実させる。
・人権尊重の精神のもと、自他の生命を大切にし、節度ある生活態度を養う。
・規範意識を高め、生徒たちに豊かな人間性と社会性を育む。
・養護教諭やスクールカウンセラーと連携し、教育相談を充実させる。

特色ある教育活動や体験活動

・県内附属中で連携し、様々な行事において、生徒が企画運営を進めることができる。
・文化祭やクラスマッチなどの学校行事、クラスマッチなどの学校行事、総合的な探究の時間等において高校生を含めた異学年交流を実施している。
・ALTの複数人配置並びに国内語学研修、オーストラリア希望研修により、異文化や国際理解に広く関心をもたせる。

学級・学校の環境の充実・整備

・学級活動における話合い活動の充実を図る。
・教室内外の環境美化に努める。
（清掃活動の充実、掲示物の工夫・整備）
・施設、設備の安全と維持に努める。
（ものを大切に使う指導、安全点検と迅速な修理、植物の栽培と管理）
・図書館を充実させ、読書活動や調べ学習を推進する。

家庭・地域社会などとの連携

・保護者と協力し、生徒の健全育成に努める。
・地域企業や関係諸機関と交流し、社会性の育成を図る。
・高等学校との学習や生活の交流を深め、中高連携を進める。